

＜持ち物・装備について＞

登山着	動きやすさを重視したスポーツ着にしましょう。防寒や日焼け、虫、けが対策のためにも上衣は長袖を着ましょう。
靴	足首の保護のためにくるぶしまで覆われた登山靴(トレッキングシューズでも可)を選びましょう。防水スプレーなどのメンテナンスも怠らないよう準備しましょう。
ヘッドランプ	真っ暗になってしまうと、足元の地形がつかめず捻挫する確率が上がるため必需品です(入山時、下山時暗いことがあります)。ハンズフリーになれるところが利点です。小型の懐中電灯でも代用可。
スパッツ	靴の中にゴミや砂利が入るのを防いでくれるカバーです。特に雨が多い地域ですので重宝します。長さは様々ですが短いものでも十分です。
下着類	下着は、透湿性・速乾性・吸汗性にすぐれたポリエステル素材のものが最適です。
帽子	必ず携帯すべきではありませんが、日差しや紫外線防止のためにも用意しましょう。不意の風にも飛ばされない、あごひも付きなどをおすすめします。
ザック (ザックカバー)	ザックは実際に背負って、動きやすく体にフィットするものを選びましょう。比較的軽いものから入れ、上に重いもの(行動食など)を入れるようにしましょう。大きさは30ℓもあれば充分です。
雨具	防水透湿性で、着脱しやすい上下別セパレートタイプのものを選びましょう。
手袋	軍手でも構いませんが、できればナイロン素材や風を通にくい素材のものを選びましょう。
ペットボトル等	のどが渇いたときのために、水やスポーツドリンクの粉などを準備していきましょう(500mlのペットボトル2本ぐらい)。お茶は利尿作用がある為おすすめしません。
行動食	登山中の休憩の時などに手軽に食べられるものを用意しましょう。ドライフルーツやチョコレート、塩飴など糖分・塩分の補給しやすいものを。
薬品類	常備薬、傷薬なども各自、準備しておきましょう。特に絆創膏は必携です。
その他	健康保険証等コピー・ビニール袋・タオル・時計・カメラ・筆記用具・サングラス・ステッキ(ストック)
※防寒具	寒暖の差が激しいところもある山歩きには、温度調節ができるよう、重ね着で対応しましょう。ただし綿素材は絶対にやめましょう(濡れると乾きにくく体温を奪い、重くなります)。
※携帯トイレ	トイレは限られた場所にしかありません。ザックに入れてあるだけで安心感が全く違います。現地では手に入らない場合もありますので、事前のご用意をおすすめします。
あると便利な物	トイレトーパー(芯を抜いておく)

※当コースは登山中級レベル以上のコースです。装備も万全でお願いいたします。

＜その他ご注意・お願い＞

- 場所によっては標高が高く、平坦地と比較して気温が低く、気候も変わり易く、雨天が多いので、セーター(秋冬の場合。春夏はパーカー等)・ヤッケ・雨具等、防寒装備をすることが必要です。
- 高山植物を採取したり、持ち帰ることは絶対なさないで、美しい自然をいつまでも守りましょう。
- 動物・昆虫についても愛護してください。ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 安全が第一ですので気象状況等により、現地ガイドの判断により、歩く行程を変更したり中止する場合がございます。また、その場合の返金はございません。予めご了承ください。
- 自然保護と安全確保の為、登山道から外れて歩かないようにしましょう。
- ストック利用の際はキャップを装着しましょう(または軍手をかぶせましょう)。
- 旅行先での万が一の怪我に備えて、国内旅行総合保険への加入をおすすめいたします。

＜屋久島の気温と降水量＞

下記気温は平地でのものです。

白谷雲水峡付近で-4℃、縄文杉付近で-8℃、宮之浦岳山頂付近で-12℃が目安です。

※屋久島観測所の平均値(2020年)

	降水量(mm)	気温(℃)			降水量(mm)	気温(℃)	
		最高	最低			最高	最低
1月	582.5	16.7	11.3	7月	732.5	29.4	23.6
2月	227.5	16.9	10.4	8月	225.5	31.3	24.7
3月	449.5	18.7	11.7	9月	623.0	27.4	22.6
4月	170.5	20.2	12.5	10月	174.0	24.9	19.2
5月	315.5	24.7	17.8	11月	116.0	22.2	16.2
6月	1112.5	27.8	22.0	12月	108.5	16.4	10.8